

# 大網ロータリークラブ

## Club Weekly Bulletin



- クラブ創立：2000年1月13日
- 例会日：毎週水曜日（12：30～13：30）
- 例会場：中部コミュニティセンター TEL0475-73-3337 FAX73-4360
- 事務所：〒299-3251 大網白里町大網 450-6 ユアサビル2階 TEL0475-70-0200
- 会長：矢部 慎一 幹事：星野 実
- 広報公共イメージ向上委員会 委員長 石田 英世



2019年7月24日(水)

通巻第910号

<http://www.oamirotary.com>  
E-mail [rc@oamirotary.com](mailto:rc@oamirotary.com)



### 本日の例会

点 鐘 会長 矢部 慎一  
ソング 手に手つないで  
会長挨拶 会長 矢部 慎一  
幹事報告 幹事 星野 実  
プログラム  
卓話者  
穂垂るの会 代表 井上瑞穂 様  
「介護体験のお話」

### ニコニコBOX

なし

例会日	7月10日	6月26日
会員数	29	30
出席	20	21
欠席	9	9
MU	0	0
免除	1	1
出席率	72.41	73.34

### 会長挨拶

矢部 慎一 会長



先週の日曜日、月曜日と館山寺温泉旅行で、徳川家康の城で有名な浜松城に行ってきた。浜松城で出世したという家康は、江戸 300 年の歴史をつくったという事で「出世城」とも言われています。これから家康の遺訓を読ませて頂きます。

人の一生は重荷を負うて遠き道を行くが如し。急ぐべからず。不自由を常と思えば不足なく 心に望みおこらば困窮したる時を思い出すべし。堪忍は無事長久の基。怒は敵と思え。勝つ事ばかりを知って負くる事を知らざれば害その身に至る。おのれを責めて人を責むるな。及ばざるは過ぎたるより優れり。  
家康（1542～1616）は徳川幕府の祖、政略にたけ、天下を統一して三百年の治世の基礎を固めた。

### ガバナー補佐就任挨拶

ガバナー補佐 堤 正広 様



今年度、第7グループのガバナー補佐を務めさせていただきます堤正広です。所属は東金ビューRCで、今年度創立20年を迎えます。今年度、RI会長のマーク・ダニエル・マローニー氏は、今年度のRIテーマを「ロータリーは世界をつなぐ」と発表し、諸岡ガバナーは地区スローガンを「ロータリーから千葉を元気に」と宣言いたしました。

ロータリーは職業を通じて社会に奉仕し、地域社会に貢献する団体であります。クラブを元気にして、「ロータリーが千葉を元気に」することを目指す諸岡ガバナーの方針の基、諸岡ガバナーを補佐できるように努力したいと思います。

今年度、周年のクラブは、東金ロータリークラブが60周年を今年9月10日に、大網ロータリークラブが20周年を令和2年3月15日に、東金ビューロータリークラブが令和2年1月23日に予定しております。予定に加えて頂きたいと思っております。

先ほど週報を拝見させて頂いた際、国際大会に7名の参加予定とのこと。国際大会は令和2年6月6日から10日まで、ハワイで開催されます。地区の国際大会参加推進委員会からは、日航、全日空合わせて80席の手配を行っており、6月7日にパーティー会場「千葉ナイト」として、中華レストランを仮予約中との案内が参っております。皆様方の参加をお待ちしております。

3年に一度の規定審議会が行われメイクアップについて、欠席した例会のメイクアップは同じロータリー年度内に行う事が可能になり、また、職業分類の制限が廃止され、クラブ自ら決められる様です。規定審議会の改訂のお話は、7月のガバナー月信の中で関口パストガバナーが「諸岡丸の船出を祝う」のなかで、述べており、また地区では、今月30日に「2019年規定審議会報告の集い」を千葉市市民会館で開催いたします。

今年度、第7グループは8クラブと成りましたが、2790地区では最多のグループです。グループ行事を通じて、ロータリー活動推進の為、皆様方のご協力を得まして会長・幹事会を始め、クラブ公式訪問、情報研修会、IM、ゴルフ大会と一年間会員相互の親睦を図り、ロータリー活動を有意義に楽しみながら、グループ内の円滑な運営を図りたいと考えております。また、ゴルフ大会に関しましては、矢部会長、星野幹事にご相談した所快くお引き受け頂き大網RC様には感謝申し上げます。一年間の皆様方のご支援、ご指導を何卒よろしくお願い申し上げます。

## 卓 話



2011年～2013年 世話クラブ 松戸西ロータリークラブ

千葉大学人文社会科学部研究科特別研究員  
山武市役所市民自治支援課

米山学友 サジーワニー ディサカ 様

大綱ロータリークラブの皆様、幹事様をはじめ会員の皆様、こんにちは。  
大変お久しぶりでございますが、令和元年、初めて大綱ロータリークラブにて卓話をしに母を連れてお邪魔したこと、大変うれしく思っております。

今日は、大綱ロータリークラブにて卓話する為に機会を作ってくださいました、四之宮お父様と板倉お父様には、心から感謝申し上げます。

私とロータリアンとの出会いは、私が米山奨学生として、ロータリー米山奨学金をいただいたからです。当時、素晴らしいロータリアン皆様の寄付金のおかげでロータリー米山奨学金をいただき千葉大学大学院で研究し、皆様のおかげで博士課程を終了して大学を卒業しました。この場をお借りしてロータリアンの皆様に、心より感謝申し上げます。

現在山武市市民自治支援課のまちづくり支援員として仕事をしております。ロータリー奨学金をいただいたおかげで山武市で活動することができました。

ロータリアンから頂いた奨学金は、私の大学での学費や研究、また日本での生活のための大きな宝でした。この宝がなければ、私は博士課程の研究を続けることができなかつたと思います。ですから、私が博士課程を修了できたのは、ロータリアンの皆様のお蔭です。ロータリアンの皆様にはいつも心より感謝申し上げます。

私は小学校5年生の奨学金試験に合格し、コロンボ市内の有名な中学校に進学しました。貧しい家庭で生まれて、靴もない、学用品もない私が首都の学校で勉強できるかどうか大きな問題でした。当時、祖父母が近所の田んぼで稲刈りなどの手伝いをしておりどんなに困ったことがあっても私と姉に首都の学校で勉強させたいと、私達二人を首都の学校に行かせてくれたので一生懸命に勉強しました。

中学校2年生の時に試験で優秀な成績をおさめたので、校長先生が日本の里親さんを紹介してくださいました。日本の里親さんから奨学金をいただきました。日本の里親さんのおかげで、日本に留学しました。

私のような子供達がまだまだスリランカには大勢おります。最初はその恩返しに里親さんに感謝しながらスリランカに住んでいる貧しい家庭の優秀な子供達に支援してあげたいという気持ちで鈴木先生に相談しました。その結果、私は留学した時から今まで大変お世話になっている、元校長先生でいらっしゃる鈴木先生のおかげでスリランカの子供達に支援するコスモス奨学金基金という奨学金支援団体が始まりました。

代表の鈴木先生が10年前にコスモス奨学金を始め、優秀であるが貧しい家庭の子供達に奨学金を与えるボランティア活動を始めました。コスモス奨学金は、優秀だが経済的に大変困っている子供達を支援するボランティア団体です。三食が食べられない子供達が大勢おります。学校でお友達のご飯を分けて食べる子供もいます。また、鉛筆やノートなどもないため、友達と共通で使う子供も多く見られます。

私のロータリークラブとの出会いは、私が米山奨学生として米山奨学生研修旅行に参加させていた時に、大綱クラブの四之宮お父さんと佐藤先生にお会いした時にさかのぼります。

私は米山奨学生の頃、地区米山委員長、柏東ロータリークラブの中村お父様と、国際奉仕プロジェクト委員長の新田様は、大綱ロータリークラブの四之宮お父様、板倉お父様、石田お父様と一緒に2014年に始めてスリランカを訪問してくださいました。

両方のクラブが2014年に、初めてスリランカへいって、スリランカと交流が始まりました。里親様がスリランカにいって実際に里子の家を訪問したり、コスモスセンターを訪問したりして、里子にとって一番必要なものを考えてくれました。コスモス奨学金で一年中使える学用品をいただきますが、子供達に必要な教科書、参考書などを買うことは奨学生にとって非常に難しいのです。また、コスモス奨学金をもらっている里子達の中で三食が食べられない子供たちが大勢おられます。

大網ロータリークラブの里親さんはスリランカの子供達に教育支援だけではなく、健康の支援も行っています。里親さんがスリランカにいらっしゃって里子達の家を訪問して下さって実際に里子達の家庭環境などをご覧になりました。

クラブの関谷お父さんの里子は、皆様ご存じ通りに、小さい時から目が見えない状況になっていました。学校で勉強している時にも黒板に書いてある文字が見えない状況でした。関谷お父さんは里子の様子を実際にご覧になってからすぐにご支援をいただき、里子を眼科に連れて行きました。眼科の先生のお話によると、その里子が母親のお腹にいた赤ちゃんの時から栄養が足りなくて、生まれてからその影響を受けて目が見えないようになっているそうです。私の姉（スジー）が月に一回関谷お父さんの里子を眼科の検査に連れて行きました。今からでもよく栄養があれば子供の目がどんどん良くなると先生からご相談を受けたそうです。その結果、関谷お父様がその里子のためにすぐ大きなご支援をくださって食糧支援が始まりました。そのきっかけで大網ロータリークラブがコスモス奨学生を対象にした食糧基金を立ち上げました。大網クラブの里親さんがスリランカから日本にお帰りなされた後、すぐにコスモス奨学金をいただいている子供達の中でご飯が食べられない子供たちに支援するために食糧支援を作ってくださいました。その日から今まで50件以上の家庭は、大網クラブの食糧支援をいただいております。毎年大きなご支援をいただいている大網クラブの皆様には心から感謝を申し上げます。これは今までスリランカの子供達にどこからもいただいてない支援です。

このように大網ロータリークラブからコスモス奨学にこのように沢山のご支援をいただいております。関谷お父さんの里子は大変素晴らしい成績をもらって中学終了試験に合格できています。高校に入学し、医学部を進学するための勉強をしています。大網クラブのご支援がなければ子の里子は現在学校にも行けなかったと思います。この場を借りて関谷お父様をはじめクラブの皆様には心から感謝を申し上げます。

大網クラブは5年間続いて食糧支援のご支援をいただいております。今年の1月に石田お父様、板倉お父様をはじめ、高山お父様がスリランカを訪問し、貧しい子供たちのご支援をしてくださいました。言葉では言い切れないぐらい感謝の気持ちで一杯です。

それから、皆様ご存じだと思いますが、今年の4月はスリランカで大きな爆発事件がありました。その日日本のニュースなどにも放送があったらしいです。

次の日、朝早く大網ロータリークラブの里親さんと松戸西ロータリークラブの方々からもお電話をいただいてスリランカの事情は如何ですか？と聞かれました。

皆様方が非常に心配していらっしゃることが分かりました。私は当時米山奨学生でなければそのようにお電話をいただかないと思います。幸せなことに、スリランカで大きな被害があっても、私は日本で一人になっていないことを良く考えました。素晴らしいロータリアンの方々が楽しい時も悲しい時も、寂しい時も困った時も私とご一緒にいらっしゃること誇りをもってどこでも話すことが出来ます。その後、大網クラブの板倉お父様と四之宮お父様からまたご連絡をいただきましてスリランカの事件で被害者になった人達へ寄付金を送りたいとおっしゃって頂きました。

募金を集めて私の方に声掛けてくださいました。大網クラブから大きな寄付金をいただきました。

爆発事件で、一番に被害が多かった人達がいる地域があります。その事件で親が亡くなった子供達も大勢いるそうです。このことを調べに夫（メルビン）が先月スリランカに行きました。爆弾の事件で被害を受けている村人に大網クラブのご支援をいただいております。実際に支援を受けている様子や写真など、それから村人から大網クラブへお礼状などをいただいているそうです。夫が帰国したら詳しいことをお知らせにクラブに参ります。爆弾事件で困っている人達は、皆で大網クラブの皆様から感謝をしています。

本当にありがとうございます。私は奨学生になったことで自分だけではなくスリランカの大勢の人達が大網ロータリークラブのご支援をいただいております。感謝の気持ちで一杯です。

大網ロータリークラブがいつも私達を助けてくださる神様です。

これらの皆様方の善意は、スリランカ人にとって大きな力となっており、スリランカの大勢の人々は日本のロータリアンに心から感謝しております。

私はロータリー奨学金をいただけなかったらこのようにロータリアンと接触する機会ができなかったはずです。

ロータリー奨学金をいただいた時から、今までロータリアンの優しいお心、親切なお言葉は、私がスリランカに帰っても忘れることができません。今まで大変お世話になりましたこと、ロータリアンの皆様にもいつも心からお礼申し上げます。言葉では、言い表せないほど皆様方に感謝しております。

ロータリー奨学金が終わっても学友として皆様方との交流を大切に、日本とスリランカの懸け橋になって交流を続けたいと思います。今後もよろしくお願い申し上げます。

仏様の御加護がありますようにお祈り致します。